

## 第1回・第2回 多文化子育てサークル@豊田市 報告

愛知県多文化共生推進室では今年度、知立市と豊田市の2カ所で「多文化子育てサークル」を実施しています。知立市では「NPO 法人 みらい」、豊田市では「NPO 法人 トルシーダ」へ事業を受託し、実施しています。

この度、9月30日（土）、10月14日（土）に豊田市での第1回目、第2回目のサークルが開催されました。

第1回目では、「多文化子育てサークル」についてのオリエンテーションのあと、自分や子どもについて説明するための簡単な日本語を学び、実際にその日本語を使って自己紹介をしました。自己紹介のあとは、出身地域ごとにグループをつくり、言葉や食べ物などをテーマに、自分の国での経験や、日本で感じている疑問などを話し合い、グループごとに発表しました。発表では、「日本の子どもはどうしてブラジルの子にくらべておとなしいのか?」「なぜ日本では屋外でも子どもにハイハイさせるのか?」といった疑問や、「冷めてしまった食事を食べることに慣れていないので、お弁当を食べられない」「日本人はフレンドリーじゃないので、なかなか声をかけづらい」などの悩みが出てきて、トルシーダの代表の伊東さんからそれぞれの疑問や悩みについてアドバイスがありました。

初回にもかかわらず、たくさんの方の参加があり、中には、「子育てを始めてからなかなか交流できずにいたが、子どもとしか関わりがないと気が滅入ってしまうので、今回勇気を出して参加してみた」という方もいました。

子育て中の保護者には強い不安感や孤独感を覚える方がいます。「多文化子育てサークル」では、サークル内で保護者への子育てに関する日本語指導や情報提供をすることももちろんですが、こうした孤独感や不安感を感じている保護者が安心して楽しんで参加できるような場をつくることも重要な目的のひとつとしています。今後、県内にこういった多文化子育てサークルが増えるとともに、既存の子育てサークルにも外国人の参加に配慮していただけるよう、県としても引き続き取り組んでいきたいと思っております。

また、第2回目のサークルでは、皆で一緒に豊田中央図書館へ行き、図書館長さんから子どものための絵本の選び方についてお話しいただいた後、実際に図書カードを使って本を借りてみました。また、事前をお願いしていなかったにもかかわらず、図書館長さんの御厚意で絵本の読み聞かせをしていただいたり、折り紙も御用意いただき、子どもたちも大変楽しんでいました。

知立市「NPO 法人みらい」実施のサークルにおいても地域の児童センターが協力をしてくださりましたが、サークルの意義を御理解いただき、本事業に御協力くださる機関があることは本当にありがたいことです。また、外国人住民と地域のリソースをつなぐ、といった意味でもこのような取組の意義は大きいと感じます。このように他機関を巻き込みサークルを実施くださっている「NPO 法人 みらい」、「NPO 法人 トルシーダ」に心より感謝の意を表します。

さて、次回のサークルは、10月28日（土）10:30~13:00に知立市で、同日14:00~16:00に豊田市で実施いたします。一組でも多くの外国人親子に参加いただければと思っておりますので、周りにそうした方がいたら、教えてあげてください。

また、保育士の方や保健師の方、行政の方、NPOの方など、外国人親子に関わりのある方は、いつでもサークルを御覧いただけます。「多文化子育てサークル」の周知と普及のため、ひとりでも多くの方の御理解・御協力をいただければと思っております。

詳細、チラシについては、以下のウェブサイトでご確認ください。

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/tabunka/kosodate-circle.html>





